

# 音楽科学習指導案

日時 令和2年2月18日(火)  
児童 5年生  
授業場  
授業者

## 1. 題材名

ICTを活用した音楽づくり～ミファソシドの音で旋律をつくろう～

## 2. 題材の目標 A表現 ウ(ア), B鑑賞 ア

日本の民謡に親しむとともに、日本の民謡の歌い方や楽器の音色、旋律やリズムの特徴に気付き、楽曲のよさや面白さを感じ取って聴くことができる。また、日本民謡の特徴を生かした旋律をつくることができる。

## 3. 題材観・児童観・指導観

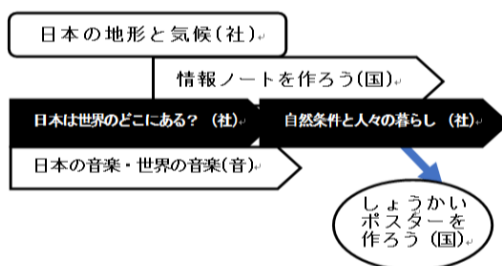
本題材は、日本民謡の鑑賞を行った後に、沖縄の音階である「ミファソシド」の音階を使って旋律をつくる活動を行い、音を音楽にする力を育成することをねらいとしている。鑑賞で扱う「子守歌」や「谷茶前」は、感じの違いを味わうことのできる楽曲となっている。鑑賞の活動を通して、イメージをもったり、楽曲の雰囲気を生かした旋律づくりを行うことができる題材である。

これまでに児童は、和楽器の音楽を含めた我が国の音楽、わらべうたや民謡、祭り囃子など、生活している地域などで親しまれている音楽の鑑賞に取り組んできた。4学年では「3つの音をつかって即興的に旋律をつくる」という音楽づくりの学習にも取り組んできている。しかし、指定された音階のみを用いて音楽づくりをすることを難しく感じたり、自分がつくった旋律を再現することが難しく、イメージを捉えきれない児童もいたりした。そこで、今回の題材では、ICTツール「i Write Music Free」を活用し、音の長さや様々なリズム・パターンを組み合わせつくった音楽を視覚的に捉え、再生したり、モニタリングしたりしながら音楽の仕組みを用いて音楽をつくる技能を身に付け、音楽表現を高め、沖縄民謡の音階をつかって旋律をつくるようにしていく。

本時では、沖縄の音階をつかった音楽づくりを通して、「こんな旋律にしたい」「沖縄音楽のリズムを生かしてみるのはどうかな」と、沖縄の音楽の音階と特徴について友達と言葉で伝え合ったり、進んで旋律づくりに取り組むことができるような場を設定し、さらにより沖縄音楽となるように、思いや意図をもって音楽づくりができるようにしていきたい。

## 4. 学年・学級経営年間プログラムとのかかわり

### 自分たちが住んでいる日本の地域を知ろう



本題材は『自分たちが住んでいる日本の地域を知ろう』のパッケージに位置づけられている。音楽科と社会科の学習を関連させ、日本と世界の国々の文化の違いに気付かせたり、世界の多様な音楽や日本の音楽への興味・関心を高め、音楽観を高められるようにしていく。また、国語科の学習を意識しながら、音楽の特徴や美しさについて伝えたりすることができるような児童の姿を引き出していく。

## 5. 題材を通して育む「問題解決力」に関わる資質・能力

本題材では、民謡を聴くことを通して、リズムの特徴や音階を一人一人が言葉で伝えたり、音楽を形づくっている要素の関わりによってつくられる楽曲の構造を理解したりしながら、聴いたりすることができるようにしていく。また、音楽づくり（旋律づくり）では、鑑賞の活動を通して学んだことを生かした旋律について、互いに聴き合ったり、感じたりしたことや気付いたことを共有し、「よりよい旋律にするためにはどうしたらよいのか」を考えるなどしていく。このように、鑑賞と表現（音楽づくり）の活動を関連付けることを通して、「問題解決力」の資質・能力を育むことを目指す。

## 6. 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ア 日本民謡の曲想と音楽の構造との関わりについて気付いている。	ア 日本の民謡の歌い方や旋律・リズムの特徴を感じ取り、それぞれのよさや面白さに気付いて聴いている。	ア 日本の音楽や音階に興味・関心を持ち、歌ったり聴いたりする学習に進んで取り組もうとしている。
イ 沖縄の音階やリズムの特徴を生かし、それらの働きによって生まれるよさや面白さを感じ取りながら、旋律をつくっている。	イ 日本民謡の音楽表現や音楽の仕組みを生かし、どのように旋律をつくるかについて自分の思いや意図をもっている。	

## 7. 題材計画

時数	○主な学習活動	評価の観点			学び合いの過程 <b>手立て</b>
		知	思	主	
1	○2つの「子守歌」の範唱（bをつけた旋律とつけない旋律）を聴く。 ・日本の子守歌のふしまわしや、特徴的な曲想を感じ取る。			ア	<b>手立て</b> ・「2つの旋律の違いはなんだろう」と問うことから、曲の感じの違いについて考え、日本の子守歌の特徴に気付くことができるようにする。
2	○声の出し方やふしまわしに注目しながら日本の民謡を聴く。 ・気付いたことについて周りの児童と交流する。 ・声の出し方を意識しながら日本民謡を歌う。	ア	ア		<b>手立て</b> ・「どのような特徴があるかな」と問うことから、それぞれの民謡に合った声の出し方やふしまわしがあることに気付かせる。
3	○「谷茶前」を鑑賞することを通して、前時までの鑑賞した民謡とのリズムや旋律の違いを感じ取らせる。 ・歌詞の意味や声の出し方や旋律の動き、言葉のリズムに気をつけて歌う。		ア		<b>手立て</b> ・「谷茶前の音階やリズムの特徴は何かな」と問うことから、ミファソシドの音階やシンコペーションが特徴のリズムに気付かせ、歌うことができるようにする。
4 (本時)	○前時までの気付き（リズムの特徴や音階）を生かしながら、iPadのアプリを活用して、旋律をつくる。 ・よりよい旋律にするために、どのようなことを意識して作るべきか、周りの児童と意見を出し合う。		イ		<b>手立て</b> 「どうしたら沖縄音楽に近づくかな?」と問うことから、どのような特徴を生かせば、自分たちが考える沖縄音楽に近付けることができるのか考えることができるようにする。
5	○前時でつくった旋律のつづきを考える。 ○伴奏にのせて、グループごとに旋律をつなぎあわせる。	イ			<b>手立て</b> ・「できあがった旋律のよさや面白さはなんだろう」と問うことを通して、まとまりのある音楽をつくるためのコツがわかるようにする。

## 8. 本時案

### (1) 本時の目標

沖縄の音階を用いて、旋律の動きやリズムの変化などが生み出すよさを生かした沖縄音楽の旋律を考えている。

### (2) 本時の展開 (4 / 5)

<p><b>学習活動</b> <span style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">児童・生徒の姿</span>  <input type="radio"/> 教師の働きかけ・発問 (△補助発問, <input type="checkbox"/> 指示・説明) <span style="float: right; border: 1px solid black; padding: 2px;">手立て</span></p>	<p><b>【評価の観点】</b>          ◇評価の内容          ・指導上の留意点</p>
<p><b>1 旋律づくりの見直しをもつ。</b>  <input type="radio"/> 沖縄音楽にはどのような特徴がありましたか <span style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">・ミファソシドが使われていたよ</span></p> <p><input type="radio"/> 今回は、沖縄音階をつかって沖縄音楽をつくってみよう  <span style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">沖縄音楽をつくろう</span></p> <p><b>2 「i Write Music Free」を活用して旋律をつくる。(1回目)</b>  <input type="checkbox"/> 2人1チームとなって、アプリ (iWrite Music Free) を使って、沖縄音楽をつくる (旋律は8小節つくる)</p> <p><b>3 旋律を聴きあい、よさや改善点がないか話し合う。</b>  <input type="checkbox"/> 各ペアがつくった音楽を聴いてみる  <input type="radio"/> 「できあがった音楽にタイトルをつけてみよう」 <span style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">・海 ・風 ・ダンス</span>  <input type="radio"/> 「今回の課題は沖縄音楽となっているね。聴いてみて思ったことはあるかな？」</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・沖縄音階を使っているんだけど、「谷茶前」のような沖縄っぽい感じがしないな</li> <li>・単調な曲に聴こえるよ</li> <li>・タイトルに合った音楽になっていないな</li> </ul> </div>	<p>・前時までに沖縄民謡「谷茶前」を学習している。</p> <p>・アプリの操作の仕方については、口頭での説明と、いつでも見返すことができるよう紙媒体でも児童に配付しておく。</p> <p>・iPad はペアに1台ずつ渡し、活動に取り組ませる。</p> <p>・音楽につけたタイトルをよりどころに考えをふくらませていく。</p>
<p><input type="radio"/> (教師が作成した単調な旋律を提示しながら)「どうしたら沖縄音楽に近づくかな？」 <span style="float: right; border: 1px solid black; padding: 2px;">手立て</span></p> <p>△「沖縄音楽にはどのような特徴があったかな？」</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リズムじゃないかな？</li> <li>・例えば、♪だけでなく、音符の種類を細かく弾んだり、3連符にしたりすることで、よくなりそう</li> <li>・「ゆったり」とした速度にしたらいいのでは？</li> <li>・旋律を繰り返し使ったらどうかな？</li> </ul> </div>	<p>・児童から出た発言をもとに、教師が作成した旋律をその場で操作し、提示する。</p>
<p><b>4 よさや改善点を基に、再度旋律をつくる。(2回目)</b>  <input type="radio"/> 「もう一度旋律をつくってみよう (1回目の旋律の改善)」          △「沖縄音楽に近づいたかな？」</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リズムが変わるだけで、沖縄っぽいおもしろい曲に変わったよ</li> <li>・速度が変わると、曲のイメージもガラッと変わる感じがする</li> <li>・曲の感じが変わったから、タイトルも変わったよ</li> <li>・さっきつけた曲のタイトルと同じような音楽になった (タイトルとは違う感じの音楽になったから、タイトルも変えたいな)</li> </ul> </div>	<p><b>【思・判・表】</b>          イ日本民謡の音楽表現や音楽の仕組みを生かし、どのように旋律をつくるかについて自分の思いや意図をもって          (発言・旋律のデータ)</p>
<p><b>5 振り返りを行う。</b>  <input type="radio"/> (メモ機能がついたアプリを使用し、) 本時の学習で学んだことを振り返ろう。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音符や速度、音を結びつけながら、自分がイメージする音楽をつくることができた</li> <li>・沖縄の音階だけでなく、リズムや速度も意識することで、より沖縄っぽい音楽になることがわかった</li> </ul> </div>	<p>・iPad のメモアプリで振り返りを行い、教師の iPad (AirDrop) へ送る。</p>